

生成 AI × 1400 万データ

エンジニアが語る、 面接体験を変革する プロダクト開発のリアル

Google
Cloud
Next

Tokyo

Proprietary



柳原英樹

株式会社ZENKIGEN

harutaka 事業本部

DX 推進チーム マネージャー



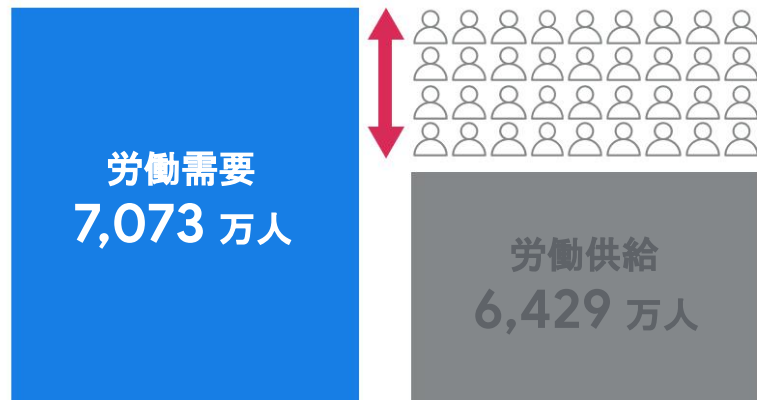
発表内容

- 01 採用 DX サービス harutaka について
- 02 harutaka での AI 活用
- 03 1400 万データを支える
セキュアなデータ基盤
- 04 AI ネイティブなプロダクト開発

01. 採用 DX サービス harutaka について

2030 年、労働人口は 644 万人不足

推測結果



※失業者 61 万人を除く

厳しい現状

- ① 内定辞退率 **63.8%** (2024 年) ※1
2030 年 70% 超の予測
- ② 採用充足率 **65.8%** (2024 年) ※2
- ③ 中途求人倍率 **2.72** (2024 年) ※3
2019 年比 1.31 倍

人材採用難が、経営課題化

出典

※1 就活みらい研究所 https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/naitei_23s-20230327.pdf

※2 キャリタス 新卒採用に関する企業調査 https://www.career-tasu.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/10/2025_kigyouchousa_kakuho.pdf

※3 doda 転職求人倍率レポート https://doda.jp/guide/kyujin_bairitsu/data/?utm_source=chatgpt.com

採用 DX サービス「harutaka」

採用戦略から、選考、振り返りまでを支援する、AI を用いた採用 DX サービス

ターゲティング

採用戦略

採用ブランディング



母集団形成

Web 会社説明会



データによる面接高度化

初期選考

録画選考



採用面接

Web 面接



振り返り

採用分析



業界 No.1 シェア、就活生の 2/3 が通過する社会インフラ

harutaka



約 700 社が利用

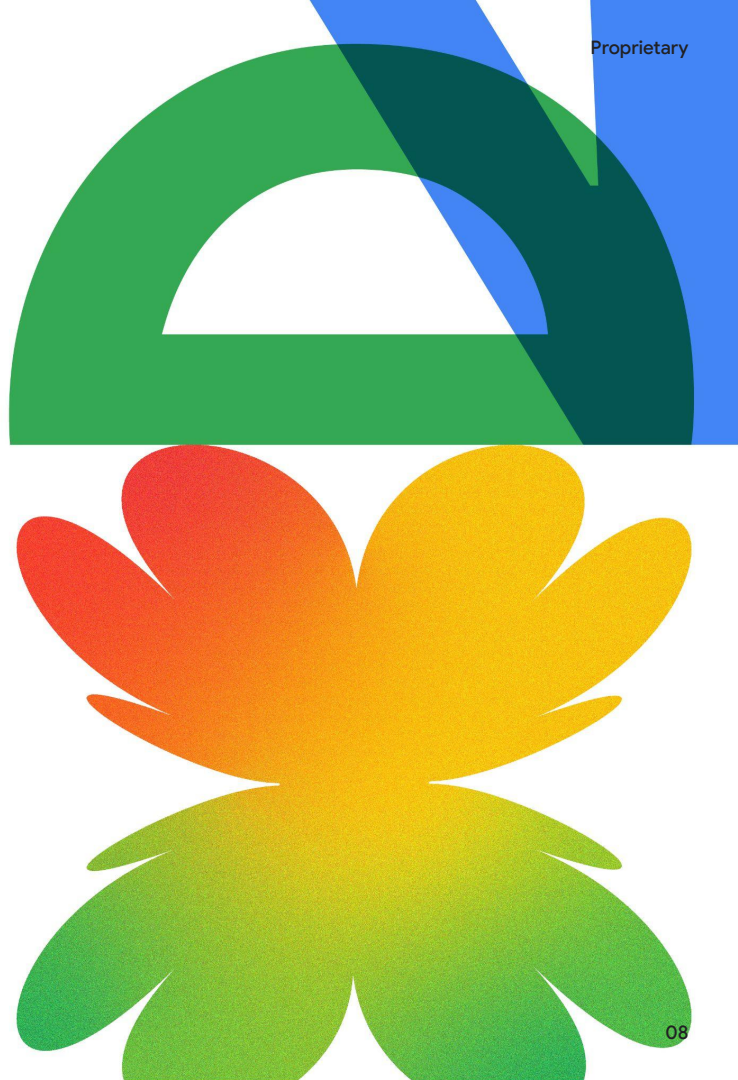
生成AI 75 万 解析





面接分析により
内定承諾率が 20% 改善しました

株式会社大塚商会 様



02. harutaka での AI 活用

勝田隼一郎

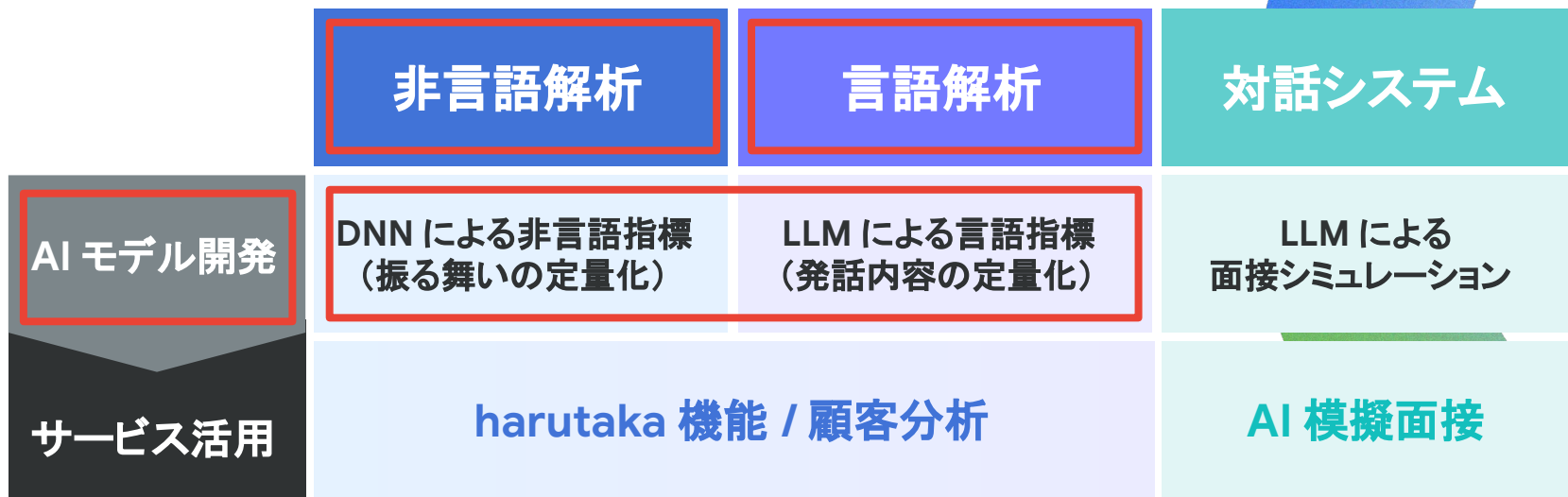
harutaka 事業本部
R&D Department 部長



コミュニケーション AI による採用高度化

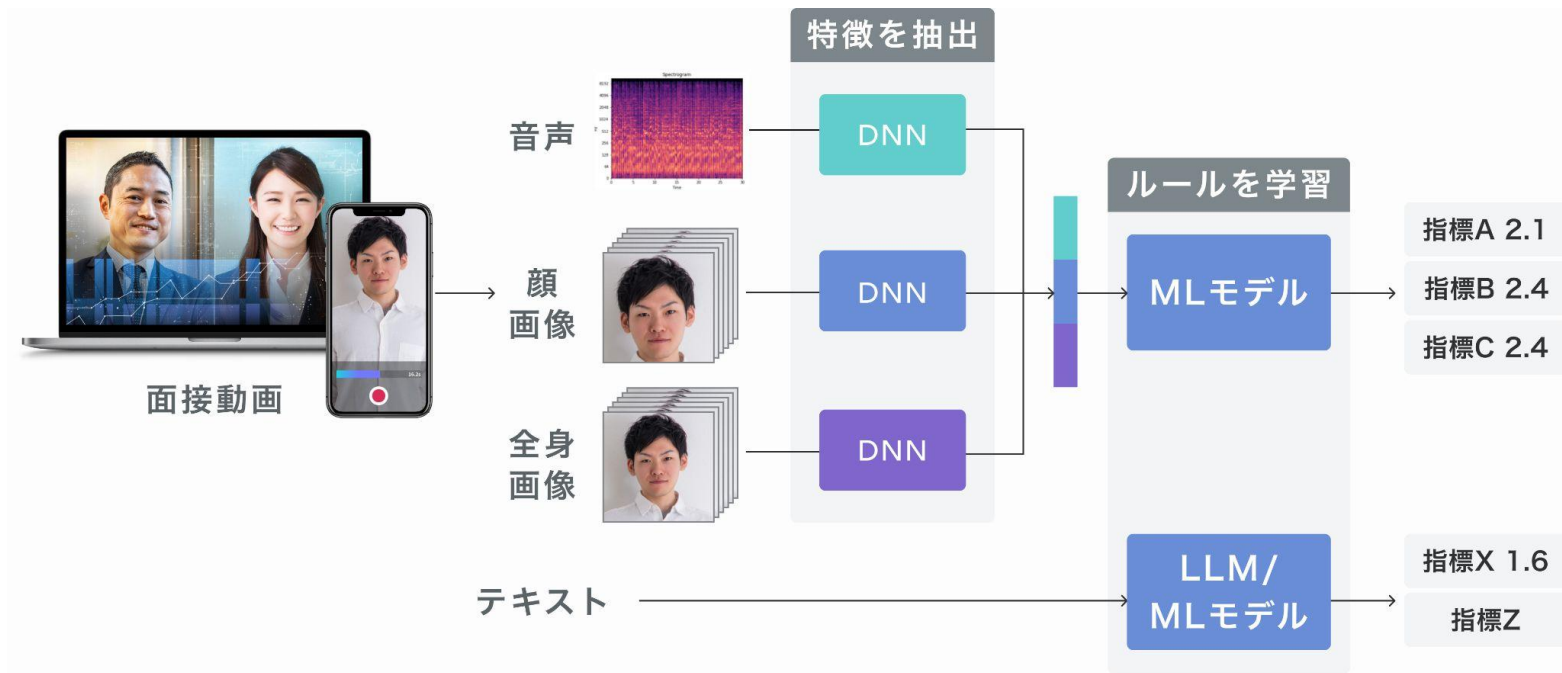


コミュニケーション AI による採用高度化

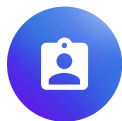


面接 × 自社開発 AI

自社開発した AI を用いた面接の定量化を実現



面接 × Gemini



選考サポート機能

- ・面接の要約
- ・質問のサジェスト



面接の定量化

書き起こし文章から、
面接の特性を抽出・分析

1. あなたの強みについて60秒程度で教えてください



再生速度 x1

要約

私の強みは柔軟性です。新歓代表として、マネージャーと選手の意見が対立した際に、自分の意見に固執せず、新入生の視点に立って部会の方針を定めました。また、係メンバーへの個別フォローを通して、新入生のモチベーション維持に努めました。周囲の協力を得ながら、様々な困難に柔軟に対応できる強みを生かし、貢献したいです。

面談向け深掘り質問

その人らしさ 新入生の視点に立つという発想に至った背景には、どのような経験や考えがあったのでしょうか？

行動力 マネージャーと選手の意見対立において、それぞれの意見の妥協点を見つける際に最も苦労した点は何でしたか？どのように乗り越えましたか？

対人関係 新歓活動において、他大学との交流や地域との連携はありましたか？その際にどのような役割を担い、どのような成果を上げましたか？

コミュニケーション AI による採用高度化

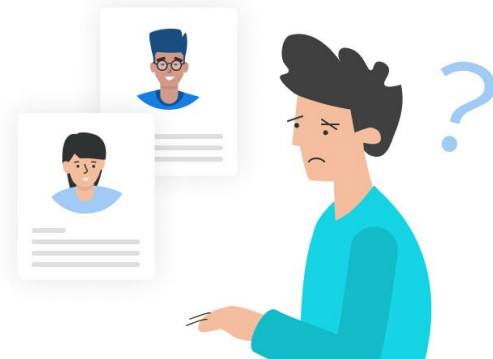


採用担当者のよくあるお悩み

毎年母集団形成に多く投資しているが、エントリー数が増えない



無機質な御祈りメールになってしまい、レピュテーションリスクがある



選考体験をより良くし、選考遷移率・内定承諾率を改善したいが打ち手がない



面接官向け面接力フィードバック

非言語情報の解析、Gemini による言語解析を活用した面接分析
→ 定量評価による、データドリブンの面接品質改善をサポート

評価項目：相互理解コミュニケーション 深掘り回数

深掘り回数とは、応募者の直前の回答を起点に、より詳しい情報を引き出すために行う、連続的な追加質問の回数を指します。

深掘り質問は、応募者の回答をより具体的に理解し、背景情報や考え方についても把握することができます。

これにより、応募者に関する本質的な情報を引き出し、より深い理解と対話につなげることができます。

あなたの評価

A

良好な深掘り回数で、概ね推奨値を達成しています

面談中に適度な深掘りを行っており、応募者の回答をより具体的に引き出せています。

さらに深掘りを意識して行うことで、応募者の考えや背景を深く理解し、より適切な判断や応募者に合った魅力づけが可能になります。

今後も継続して深掘りを強化し、質の高いコミュニケーションを築いていきましょう。

結果詳細・評価方法

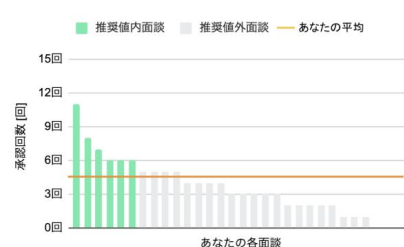
推奨値

100%

あなたの
推奨値達成率

50%

あなたの面談ごとの深掘り回数



応募者が面接を振り返れるレポートを提供

AIが描く「あなたのキャリアフローの可能性」

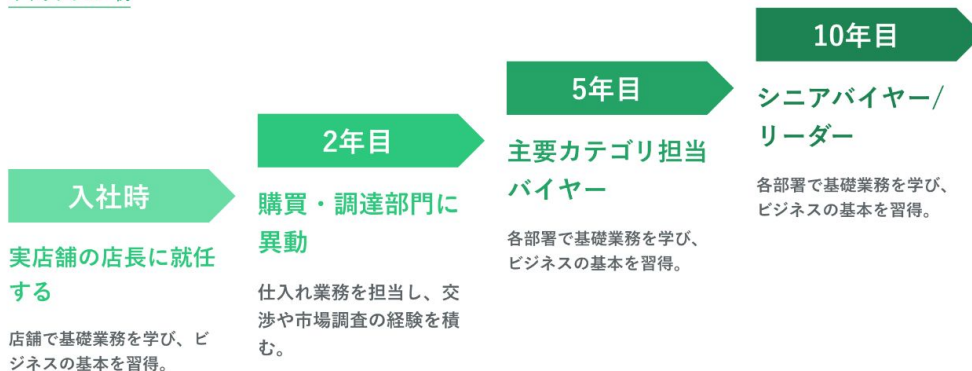
あなたのキャリアフローの可能性 - 1

トレンド分析と戦略的思考を兼ね備えたバイヤー

大手メーカーで培った「ものづくり」の知識を基盤に、トレンド分析力と戦略的思考を兼ね備えたバイヤーです。品質・コスト・納期を意識した調達力と市場動向を的確に捉える感覚で、顧客ニーズを満たす仕入れを実現。さらに、海外調達や交渉をリードするグローバルな視野と高い調整力を発揮します。



キャリアフロー例



コミュニケーション AI による採用高度化



デモ動画

動画あり
アーカイブ動画をご視聴ください

面接 × AI アバター

AI アバターと模擬面接を実施



発話内容からフィードバック レポートを作成

主体性行動力について

あなたの特性である「主体的行動力」をより、経験や成果に基づいて説明するために、以下のような話し方ができます。

例文

面接官：学生時代に最も力を入れたことについてお聞かせ...

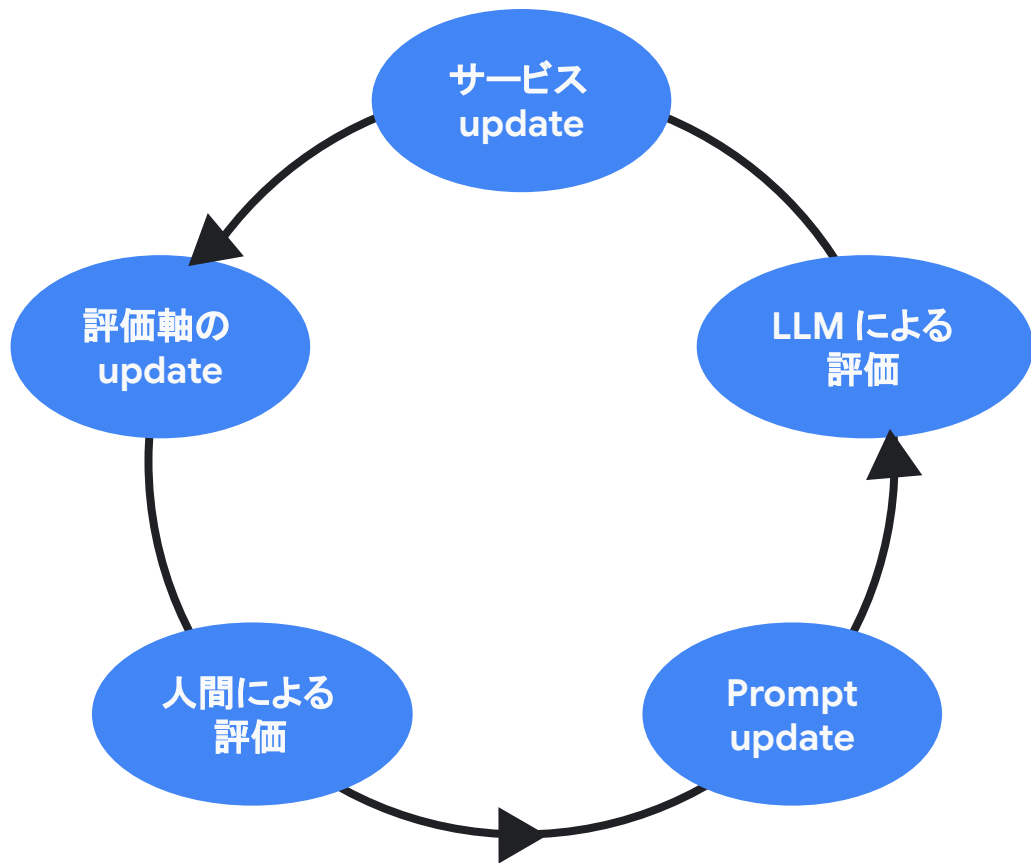


ウェブメディア運営の経験について、具体的なエピソードや成果をさらに詳しく述べることで、あなたの役割や成果をより明確に伝えられるようになります。

Evaluation Ops

評価フローの改善をまわす必要がある

- ・評価基準のアップデート
- ・Human in the Loop
- ・LLM-as-a-Judge



03. 1400 万データを支える セキュアなデータ基盤

村上 奨

harutaka 事業本部

Technology Department 部長



データ基盤の特徴



ワンストップ

エントリーから入社まで
一気通貫でのデータ活用

採用プロセス全体の DX・高度化

初期選考
録画選考

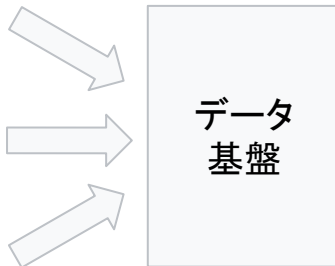
採用面接
Web 面接

振り返り
採用分析



スピード

すべてのプロダクトの
データを自動集約



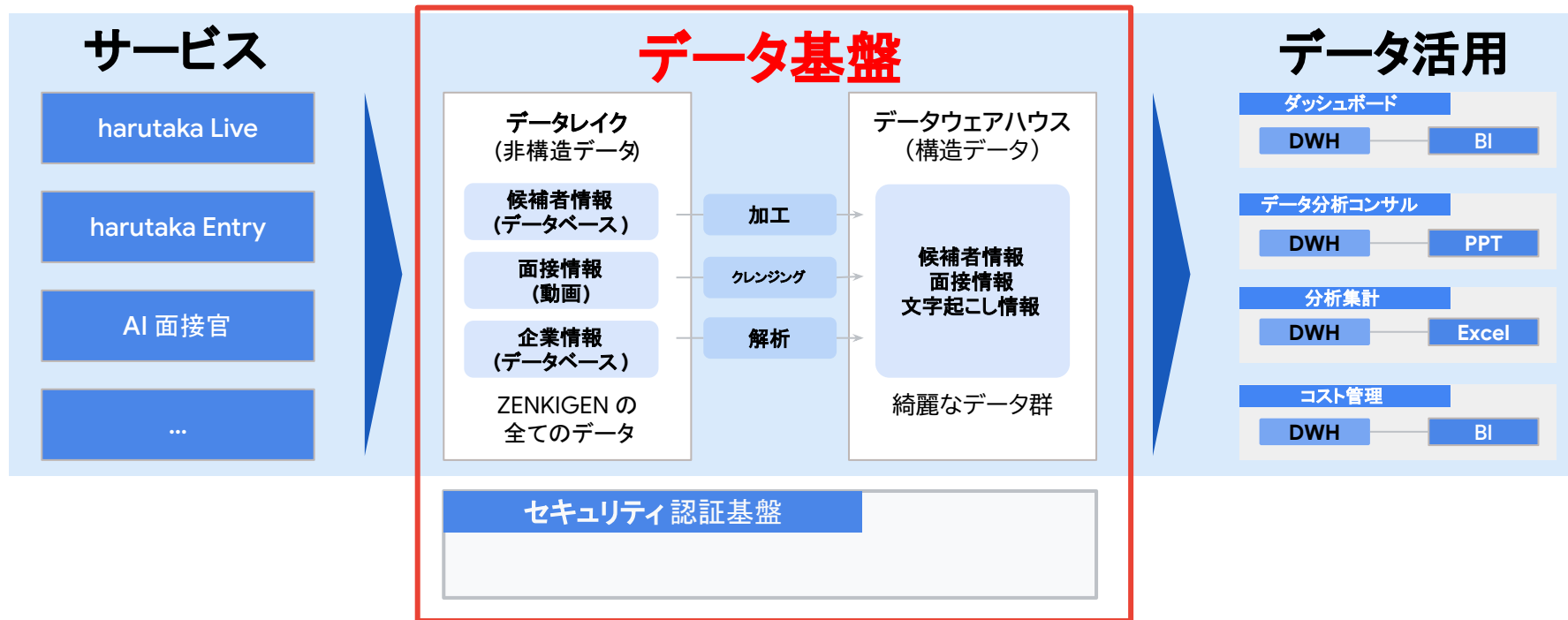
セキュア

厳格な権限管理と
運用の一元化

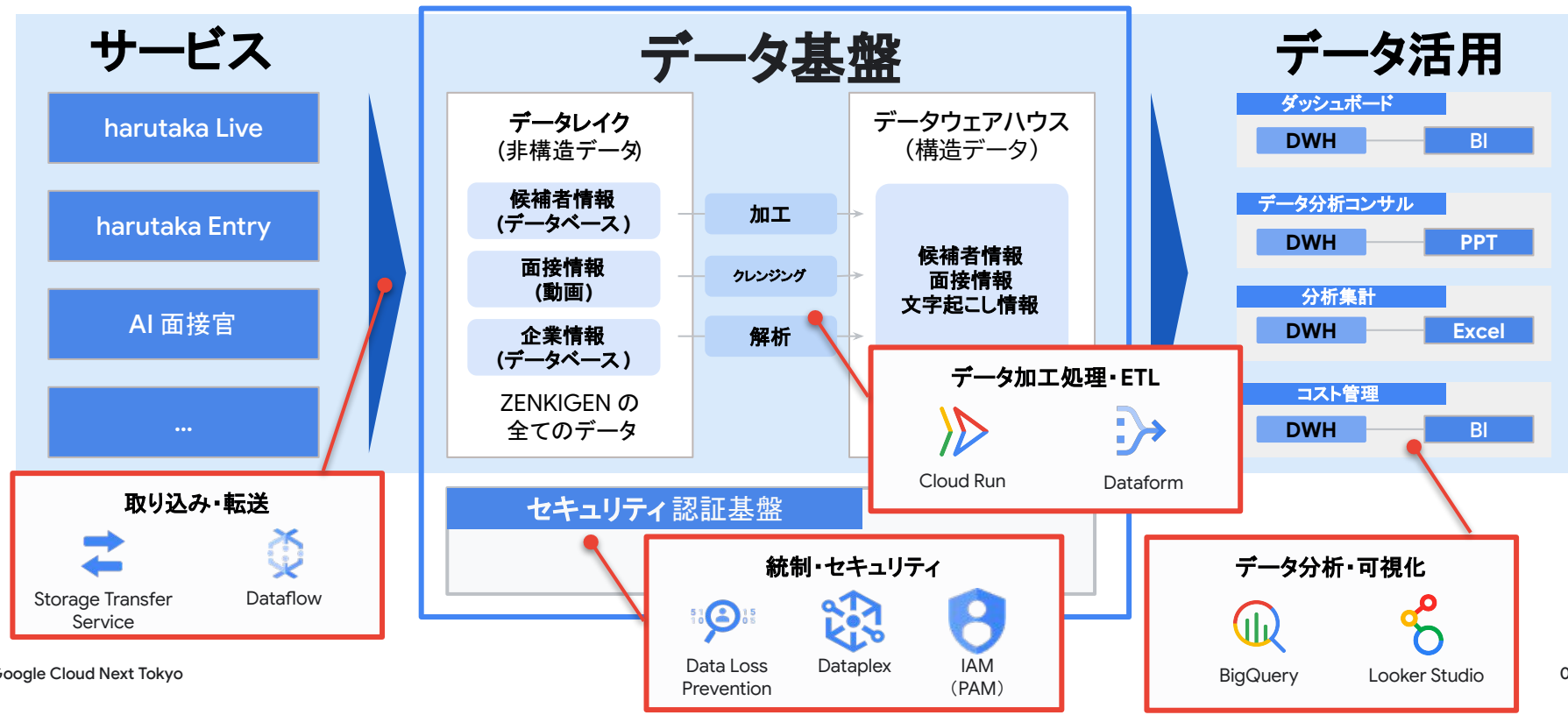


Privileged
Access
Manager

1400 万データを支えるデータ基盤



1400 万データを支えるデータ基盤

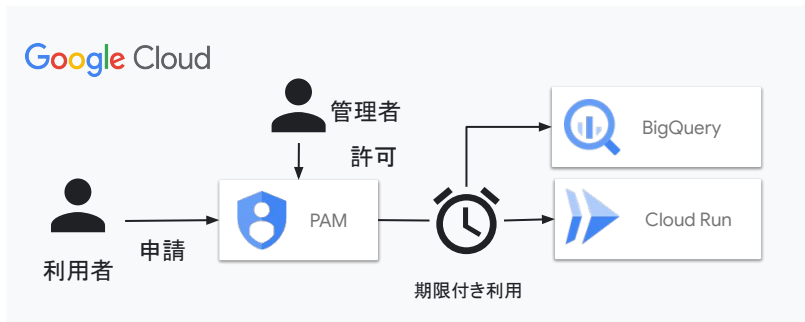


PAM アーキテクチャの導入

PAM (Privileged Access Manager) とは

データ管理者(上長)の承認を得て
期限付きのロールを発行できる機能

✓ アーキテクチャ



🔄 PAM で得られるメリット

- ワンクリック申請承認でスピーディー
- 期間限定付与で権限管理漏れ防止
- 承認 / 付与 / 失効まで自動でログ管理

PAM による権限管理の流れ

1 権限の標準化

作業内容毎に権限作成

1 利用資格の詳細

依頼者に特権リソースと特権ロールへの一時的なアクセス権の取得を許可します

資格名
bq-access-to-personal-information

簡単に識別できる一意の名前を使用します

リソース
harutaka-analytics-sandbox

ロール *
BigQuery ジョブユーザー

IAM の条件 (省略可) ⓘ
+ IAM の条件を追加

ジョブを実行するためのアクセス権

ロール *
BigQuery データ閲覧者

IAM の条件 (省略可) ⓘ
+ IAM の条件を追加

データセットとそのすべてのコンテンツを表示するためのアクセス権

ロール *
Cloud Functions 起動元

IAM の条件 (省略可) ⓘ
+ IAM の条件を追加

アクセスが制限されている第 1 世代の HTTP 関数呼び出せす。第 2 世代の関数呼び出すには、代わりに Cloud Run 起動元ロールが必要です。

+ 別のロールを追加

権限を付与する最大期間 *
1日

次へ

2 権限のリクエスト

作業者が利用申請

権限付与をリクエスト

最大期間 (1日) の利用資格に対する権限付与をリクエストします

権限付与の期間 *
30分

理由 *
作業の為

通知の受信者 (省略可)

この権限付与の更新情報を受け取るにはメールアドレスを入力してください

受信者のメールアドレス

権限付与をリクエスト キャンセル

3 申請の承認

データ管理者が承認

リクエストの理由

作業の為 [承認 / 拒否](#)

04. AI ネイティブなプロダクト開発

リニューアル決断の背景

7 年間の技術負債の解消と生成 AI 時代への対応



＜7 年前：ローンチ＞
当時最先端の技術選定



古くなった
アーキテクチャ

マネージドサービスの
積極利用

＜サービス成長期＞
技術的な負債の蓄積



暗黙知な
アプリ仕様

開発プロセスを
AI 標準へ再構築

＜現在＞
生成 AI の登場



サービス要求の
高度化

AI Agent や分析知見を
取り込める技術スタック

Cloud Run × Gemini



2 か月で開発

マネージドなインフラにより
機能開発に集中



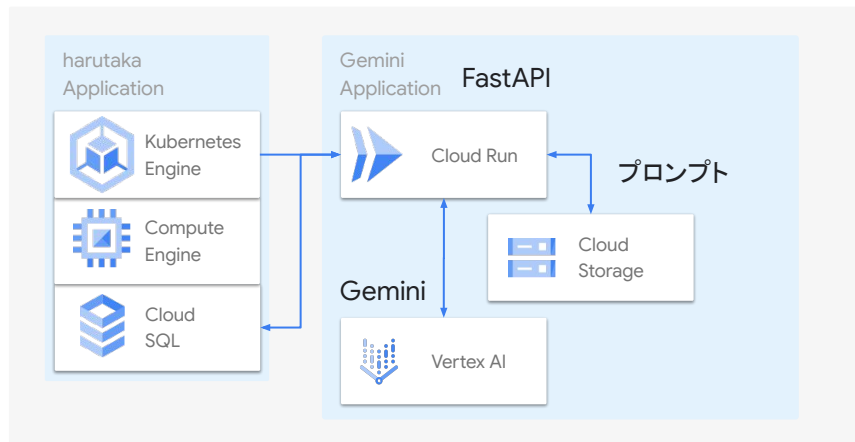
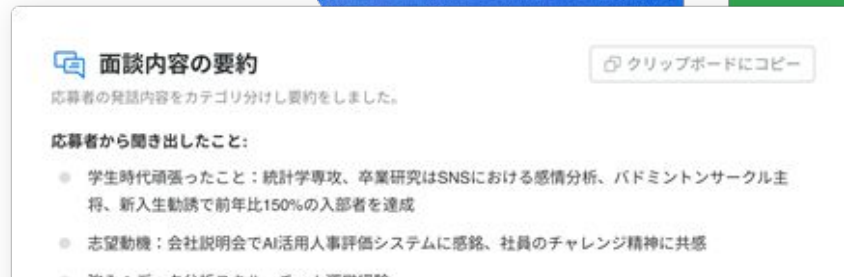
75 万回の Gemini API 利用

Cloud Run のオートスケールに
より安定して動作



カスタマイズ

各企業のコンピテンシーに
基づいてカスタマイズ可能



Cursor で実現する超高速開発

設計フェーズ

仕様書の自動作成

開発フェーズ

コード・テストの実装

デプロイ

GitHub PR の自動作成

テストフェーズ

E2E テストの作成

1 プロセス標準化



すべてのプロセスに
Cursor Rule を適用

2

ナレッジ更新の 自動化



仕様書とプログラムが
常時同期、最新化

3

高速・高品質な 成果物



プロセスに則った
設計やコーディング、git
操作やレビューを
AI Agent が実行

開発時間: 80% 短縮

PR ドキュメント作成: 100%

運用管理の進化

運用管理の AI Agent による高速化・属人化の防止



お客様からの問い合わせ



アカウント作成・棚卸し



開発計画や製品仕様の確認



**Slack の指示で AI Agent が起動
非エンジニアで対応が完結**



Devin をフル活用

- ・アカウント管理を GitHub に一元化
- ・インフラ管理を Terraform に一元化
- ・調査に必要なデータを BigQuery に出力

さいごに

今後の展望



採用 AI
エージェント

採用プロセス全体に
AI エージェントを導入



マルチモーダル
高度解析

動画、音声から
表情・感情などの高度な AI 分析を実施



オフラインでの
AI 活用

オフィス環境の面接でも分析が可能に

未来の出会いに、テクノロジーの力を。

単なる効率化ではなく、
“未知の可能性”との出会いを支える AI

人の魅力の定量化や分析によって、
企業と、応募者の可能性を広げます

We are hiring!

応募方法・募集情報は採用サイトをご覧ください

🔍 ZENKIGEN 採用



ご清聴ありがとうございました